

Europe Trends

発表日: 2021年1月18日(月)

ドイツ与党党首選はメルケル路線の継続を示唆

～首相候補としての力量は今後の党運営や春の州議会選で試される～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- ◇ ドイツの連立政権を率いるCDUはメルケル路線の踏襲者とされるラシェット NRW州首相を新党首に選出した。同氏がポスト・メルケルの地位を固めるには、中道路線継続派と保守回帰派を抱える党内の結束をどう保つかや、秋の連邦議会選挙の前哨戦となる3月の州議会選挙をどう戦うかが試金石となろう。前任者のように失点を重ねる場合、姉妹政党CSUのゼーダー党首兼バイエルン州首相やシュパーン保険相が首相候補として名乗りを上げる可能性が浮上する。

ドイツ与党・キリスト教民主同盟（CDU）は16日の党大会で、ノルトライン＝ヴェストファーレン（NRW）州首相のラシェット氏を新たな党首に選出した。初回投票で最多票を獲得したのは保守派のメルツ元院内総務だったが、初回投票で敗退したレットゲン元環境相の票がラシェット氏により多く流れた（表）。世論調査で一貫してリードしてきたメルツ氏は、前回党首選に続き、決選投票で敗れた。

（表）ドイツCDU党首選の結果

	初回投票	決選投票
ラシェット NRW州首相	380	521
メルツ元院内総務	385	466
レットゲン元環境相	224	—

出所：CDU資料より第一生命経済研究所が作成

ラシェット氏は3候補の中で最もメルケル路線を踏襲するとされる人物。メルケル時代と同様に、ラシェット体制下のCDUは中道路線を歩むとみられ、中道左派の社会民主党（SPD）や環境政党・緑の党と中道票を争うことになる。最大野党で右派ポピュリスト政党・ドイツのための選択肢（AfD）は、現状不満票や反移民票に加えて、保守票の一部を維持するとみられる。

党首選の勝利が、秋の連邦議会選挙後の政界引退を示唆しているメルケル首相の後継首相候補の地位を約束するものではない。各種の世論調査で圧倒的な人気を誇るのは、バイエルン州で活動する姉妹政党・キリスト教社会同盟（CSU）のゼーダー党首兼バイエルン州首相。本人は出馬を否定するが、CDUとCSU間で首相候補を一本化する過程で、春にも統一候補に躍り出るとの見方

が多い。これまで地域政党であるCSUが連邦首相を輩出したことはないが、過去に2度、CSU出身者がCDU・CSUの統一候補として連邦首相の座を争ったことがある。2002年の連邦議会選挙でSPDのシュレーダー首相に僅差で敗れたシュトイバーCSU党首兼バイエルン州首相と、1980年の連邦議会選挙で第1党となったものの、シュミット首相が率いるSPDと自由民主党（FDP）による連立政権の継続を許したシュトラウス・バイエルン州首相。厳格なコロナ危機対応で評価を高めたゼーダー氏だが、その後はバイエルン州でも新型コロナウイルスの感染者が拡大している。この点が統一候補としての同氏の擁立の障害となる可能性もある。

また、今回の党首選でラシェット氏支持に回ったシュパーン保険相も影の首相候補として度々名前が浮上する。シュパーン氏も党大会で5人の副党首の1人に選ばれた。ラシェット氏の勝利でシュパーン氏が出馬する可能性は遠退いた。ラシェット氏を差し置いて首相を目指せば裏切り行為と受け止められる恐れがある。だが、ラシェット氏が新党首として失点を重ねる場合、シュパーン氏待望論が高まろう。

メルケル首相の手堅いコロナ危機対応も後押しする形で、CDUの支持率は一時の低迷から回復した。今後の党運営や州議会選挙が、ラシェット氏がメルケル首相の後継候補としての立場を固められるかどうかの試金石となろう。メルケル首相がコロナ禍で国民からの支持を高めたのに対し、ラシェット氏は州首相としてコロナ危機対応で支持を落とした。秋に連邦議会選挙を控え、3月にはバーデン＝ヴュルテンベルク州とラインラント＝プファルツ州で前哨戦となる州議会選挙が行われる。CDUはバーデン＝ヴュルテンベルク州議会選挙の世論調査で緑の党と、ラインラント＝プファルツ州議会選挙の世論調査でSPDと第1党の座を争っている。また、6月にはAfDの支持が高いザクセン＝アンハルト州で、秋にはベルリン市（州に相当）、チューリングゲン州、メクレンブルク＝フォアポンメルン州でも議会選がある。

決選投票で敗れたものの、メルツ候補は初回投票で最多票を獲得し、決選投票でも中道票を結集したラシェット候補に善戦した。CDU内にはメルケル時代に中道化した党の保守回帰を訴える層も多く、そうした層がメルツ氏を支持した。今回の党首選は代議員による投票で行われ、組織票を固めたラシェット氏に有利に働いた。だが、CDU支持者を対象とした世論調査では、メルツ候補の人氣がラシェット新党首を上回る。中道維持派と保守回帰派で割れる党内をどうまとめるか、ラシェット新党首の手腕が問われる。

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。